

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（山川出版社 高校日本史）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>原始・古代の日本と東アジア</p> <p>【知識・技能】 原始・古代の社会について多様な観点から適切に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 古代社会の成立の背景について適切に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始・古代の重要性を理解し、積極的に活用しようとする。</p>	<p>先史社会の生活と文化</p> <p>律令国家の形成と古代文化の展開</p> <p>摂関政治と貴族文化</p> <p>・教材 教科書「山川 高校日本史」 資料集「第一学習社 日本史図表」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 古代社会について人々の生活や政治・経済などの様々な観点から適切に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 古代末期の社会の混乱に着目し、古代から中世への時代の転換の背景について考察することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア世界と古代日本の文化についてその概要について、粘り強く自らまとめようとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>中世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>中世社会の成立</p> <p>中世社会の展開</p> <p>武家支配の広がりや国際交流</p> <p>・教材 教科書「山川 高校日本史」 資料集「第一学習社 日本史図表」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 中世社会について政治・文化・外交などの多様な視点から理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 中世文化の広がりに着目し、現代における諸問題との関連について考察することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世の外交関係について積極的に理解しようとする態度が身についている。</p>	○	○	○	6
<p>近世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 近世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>近世社会の形成</p> <p>近世社会の展開</p> <p>近世社会の成熟と幕藩体制の動揺</p> <p>・教材 教科書「山川 高校日本史」 資料集「第一学習社 日本史図表」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 近世社会についてその成立・特徴についてその概要を理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 近世の学問や文化が社会に与えた影響に着目し、現代社会の諸問題との関係について深く考察できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 江戸幕府の成立が社会に与えた影響について考察を深め、関連する現代的問題について興味関心を持って学ぶ姿勢を身につけることができている。</p>	○	○	○	6

1学期

